

(第 13 報) 全老健、2018 年 (埼玉)

演題名 : CASA が会話を増強させる効果は 9 週後も維持された

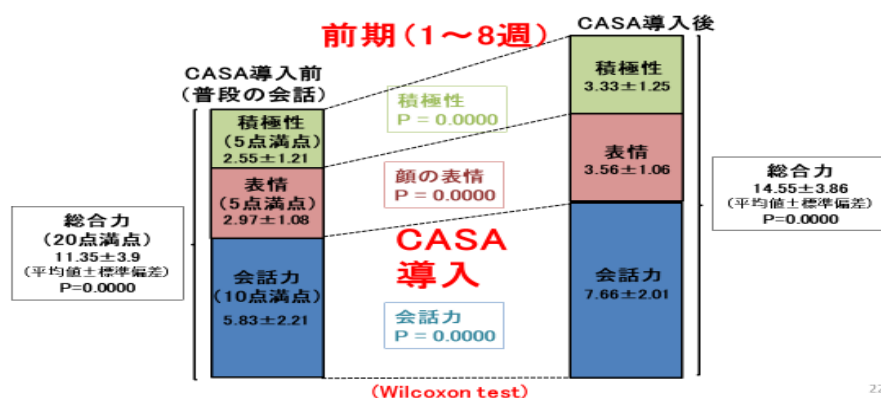
副題 : CASA (会話力補助システム)

発表者 : 浅田 章、佐藤 愛子、坂上 美幸、福井 あけみ、馬野 久美恵、阿漕 紀子、千葉 喜代美、村中 茂義

所属 : すこやか生野

(結果) 前期 (CASA 導入の前後)

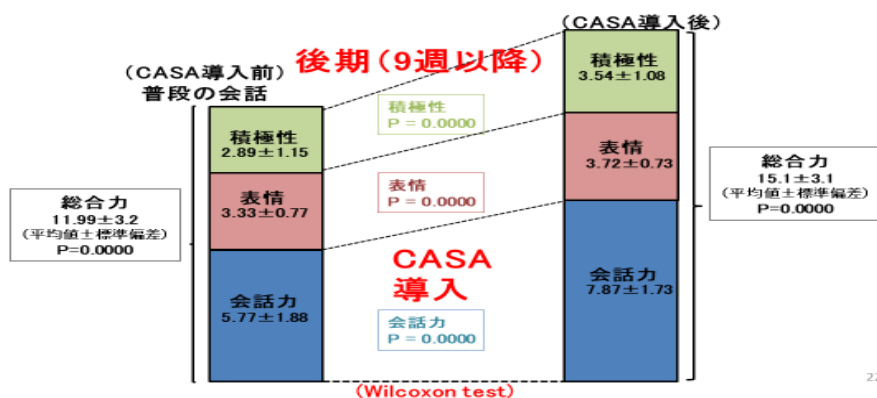
会話力・表情・積極性・総合力 (点数) が CASA 導入後に有意に改善された
→ CASA の導入により、会話力・表情・積極性・総合力が増強された



223

(結果) 後期 (9 週以降) (CASA 導入の前後)

会話力・表情・積極性・総合力 (点数) が CASA の導入で有意に改善された
→ CASA の導入により、会話力・表情・積極性・総合力が増強された



224

概略 : 37 名に CASA 導入前後で面談を行った。観察期間は平均 18.9 週で、これを初期 (8 週まで) と後期 (9 週以降) に分けた。CASA が会話を増強させる効果 (反応性) は 9 週後も維持された。この効果を通じて、認知症の方に良い影響を与えていることが示唆された。